

# 第7次行政改革大綱の取り組み状況



市 HP

令和3年度から5年間を推進期間とする「第7次真岡市行政改革大綱」の実施計画について、初年度である令和3年度の取り組み状況と、その成果の一部を紹介します。

## 実施計画38項目の進捗度（目標に対する達成の割合）別内訳

主要項目	自己評価	S 達成 100%超え	A 順調 90-100%	B やや遅れ 70-89%	C 遅れ 50-69%	D 大幅な遅延 50%未満	計
市民協働のまちづくりの推進		1	2	0	0	2	5
開かれた市政の推進		2	0	0	0	3	5
事務事業の効率化		3	5	1	0	0	9
組織の適正化と人材の育成・強化		1	3	0	0	0	4
スマート自治体の推進		2	1	0	0	1	4
健全な財政運営		5	5	0	1	0	11
合計		14	16	1	1	6	38

## 令和3年度の効果額は1,465万4,812円

※効果額：「歳出の削減額」「歳入の増加額」「改革を実施しなかった場合に支出したであろう金額との差額」のいずれか

### (1) AI・RPAを活用した行政サービスの向上と事務効率化 効果額：75万4,812円

導入した機能	効果の内容
AI（人工知能）を活用した議事録作成システム	会議で録音した音声を自動的にデータ化することにより、職員の業務時間を年間31時間削減
RPA（ロボットによる業務自動化）を活用した事務処理システム	人事評価の集計や補助金の支給事務、届出の処理業務など6業務を自動化することにより、職員の業務時間を年間333.5時間削減

### (2) 行政資源の有効活用（未利用市有地の売却による） 効果額：1,390万円

利用する予定のない市有地（815.27㎡）を売却

### 【参考】金額の数値目標が設定されている実施計画における令和2・3年度の実績額の比較

実施計画項目	実績内容	令和2年度実績額	令和3年度実績額	比較額（※）
下水道事業の健全経営の推進	下水道料金収納額	849,438,961円	851,865,009円	+2,426,048円
市税等の徴収対策	一般会計市税等歳入額（現年分）	13,291,644,799円	13,674,454,767円	+382,809,968円
市営住宅使用料	市営住宅使用料収入額	95,615,940円	94,649,560円	△966,380円
保育料	保育料の収納額	78,986,270円	84,958,920円	+5,972,650円
行政資源の有効活用（有料広告）	ホームページ広告料収入	185,000円	115,000円	△70,000円
人件費の抑制（超過勤務手当）	超過勤務手当	119,706,240円	107,747,094円	+11,969,146円

※好転している場合は「+」で、悪化している場合は「△」で表記

☎ 総務課総務文書係 TEL 83-8106

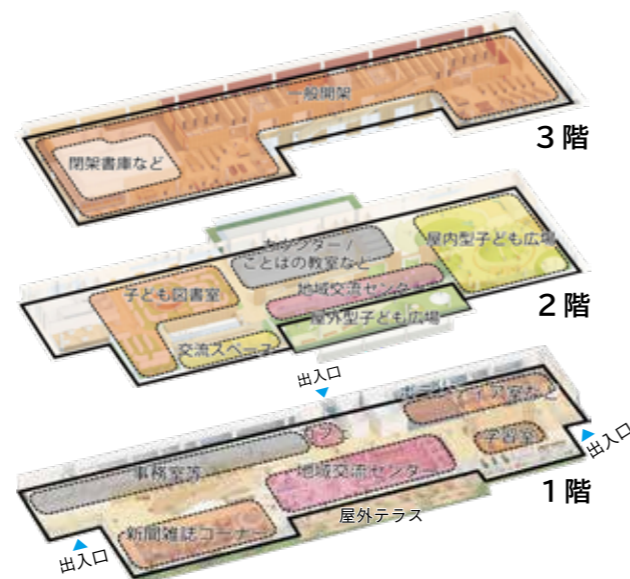
## 「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」複合交流拠点について シリーズ③ 図書館編



令和7年春の開館を目指して設計を進めている複合交流拠点について、第3回目は、「図書館」を紹介します。

### Q どのような図書館になりますか？

**A** 1階から3階までの施設全体が、図書館として利用することができます。施設内のどこでも本を手にとることができ、1階には、新聞雑誌コーナーや、中高生向けの本棚、学習室を設けるほか、2階の子どもゾーンには子ども図書室、3階には静かに本を読む読書室を設ける計画です。市民の生涯学習の場として、学びの機会にあふれ、学びを通じて、人とのつながりや交流を深めることができる施設を目指します。



### Q 本の数はどうなりますか？



**A** 現在、市の図書館全体で約28万冊の本がありますが、たくさんの魅力的な本をそろえた図書館を目指すため、今後はさらに増やしていく計画です。

### Q 座席数はどうなりますか？



**A** 現在の206席（閲覧席、学習席）から、2倍以上となる約450席に増やす計画です。1人で利用できるソファ席やカウンター席、読書室や屋外テラス席などを用意し、利用者の皆さまにとって居心地の良い空間で楽しんでもらえる施設を目指します。

☎ プロジェクト推進課複合交流拠点整備係 TEL 83-8059 ★次回は「地域交流ゾーン」についてです。